

三中だより

令和5年度 11月号



令和5年11月13日発行
荒川区立第三中学校
(学校通信 No. 11)
校長 小柴 憲一

開校記念日

第三中学校は今月の1日が開校記念日で、76歳になりました。

同じ年齢の中学校は本校以外にも第一中学校・第四中学校・第五中学校・第七中学校があります。荒川区外にも、同じ年齢の中学校はたくさんあります。これらの中学校は、終戦、昭和20年直後の、昭和22年に学制改革が行われ誕生した当時の新制中学校で、公立中学校では最も年寄りと言えます。

そのような年をとった中学校だからこそ、校舎内の随所に掲示されている過去の写真から分かる通り多くの歴史があります。

今回は、多くの歴史の中から、校舎と地域についてだけお伝えいたします。

開校当初、本校は第四瑞光小学校に併設されていました。現在の校舎は、白鬚西地区再開発事業によりこの地域の人口の大幅な増加が見込まれ、平成14年に建てられた教科教室型の校舎なのです。教科教室型の校舎では、「国語の授業を受けるときは国語教室に移動する」というように、皆さんが常に移動して授業を受ける生活をしていました。しかし、生徒数がさらに増加してきたため、現在のようなホームルームで授業を受ける形式に変わりました。

ですから今でも、普通教室の壁に「国語科教室」とか「社会科教室」という掲示がされているとともに、玄関を入った主事室前の校舎案内にも、1年A組・1年B組という表示はなく、教科の名称になったままになっているのは、その時代の名残です。

次に、地域ですが、本校は汐入町会やその他の地域団体と密接な関係にあり、平成の時代にあつて、運動会が第三中学校と町会合同で行われていました。都内の中にあつて町と一緒に運動会をするというのはとても珍しいことです。しかし、この運動会も生徒数の増加により、学校単独で開催する形式になったのです。今年度から様々な地域の行事が再開され、そのたびに三中生がボランティアで参加していますが、これらは過去の第三中学校と町会や地域団体との密接な関係が脈々と続いているからなのです。

特に、汐入町会とは夏の汐入まつりのほか、昨年度復活した「第三中学校・汐入町会合同の総合防災訓練」です。今年度もおそらく計画されていると思いますので、汐入町会から開催の案内が届いたら、お子さんをボランティアに参加するようお声をかけていただくとともに、保護者の皆様も積極的に参加をしてほしいと思います。

76歳になる第三中学校ではありますが、まだまだ元気です。その元気の源は、子どもたちの「品位あるあいさつ」「生徒会という強い自治の力」「一生懸命に学業に向かう姿勢」「夢中になつて行事に向かつていく態度」「日常的に楽しく友達と生活する姿」などの中学生らしい学校生活なのです。

76歳の第三中学校のために、子どもたちの若さをエネルギーとして分けてあげてほしいと思います。

保護者・地域の皆様におかれましては、今度第三中学校にお越しになられたときは、掲示されている過去の写真や、普通教室に表示されている教科教室型の名残をご覧いただければと思います。

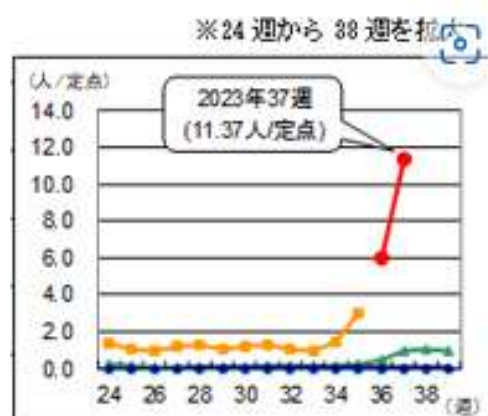
インフルエンザ「流行注意報」発令中

区内では、毎日のようにいずれかの学校で学級閉鎖・学年閉鎖などの臨時休業措置が執られており、インフルエンザの感染拡大が続いております。本校におきましても、インフルエンザ陽性のために自宅療養となっている子どもたちが散見されています。

また、東京都感染症情報センターでは、9月21日に都内のインフルエンザ「流行注意報」を発令したところです。同センターでは、インフルエンザは流行時期に合わせ、毎年、1月から数えて第36週にあたる8月末～9月初旬から、翌年の第35週までの1年間をインフルエンザシーズンとして情報提供を行っています。しかし、右下のグラフから分かるように35週直後から、インフルエンザの感染拡大は急激なものとなり、「流行注意報」に至りました。

インフルエンザは、同じ分類となった新型コロナウイルス同様に、全数調査は行わず、定点医療機関から報告された患者報告数の推移をもって流行状況を把握しており、注意報レベル開始基準値は、10人/定点(週)、警報レベル開始基準値は、30人/定点(週)となっています。

すると、右の図から分かる通り、シーズン最初の35週目から急激に増加し、36週目で11.37人/定点(週)と、注意報レベルを超えています。さらに、次ページのとおり42週目には21.74人/定点(週)と20人を超えています。そして43週目には19.91人/定点(週)と、1週間前よりは若干下がってはいますが、まだ収まっていく様子が認められません。



<東京都感染症情報センターホームページより>

一方、グラフの左側、1月から2月にピークを迎えているグラフはコロナ禍前の令和元年のもので、今年度はこのレベルのピークが11月から12月にくる、もしくはその後はさらに高い数値まで上がっていく可能性もあります。

インフルエンザの予防接種を受けることは任意ではありますが、もし差支えのない状況でしたら接種を受けることをお勧めいたします。特に、3年生は合格するかどうか以前に、そもそも試験を受けられるかどうかがかかっています。悔いの残らない準備をしてほしいと思います。

感染予防方法は令和2年度から始まった新型コロナウイルス感染症への対策と同じです。新型コロナウイルス感染症も完全に収束したわけではありませんので、ご家族全員で感染症対策に万全を期してください。

しかし、それでも感染してしまうのが感染症の怖いところです。学校としては、校内で感染拡大が起きることを最も危惧しています。学級内で、学年内で、部活動内で、委員会活動内でなど、子どもたちが集まる場面はたくさんあります。特に、部活動や委員会活動では複数の学年・学級の子どもが集まるため、感染者から感染し、さらにその子どもが他の人に感染させてしまう可能性があり、広範囲な感染拡大となってしまう、学年閉鎖・学校閉鎖などの規模の大きい臨時休業措置をとらざるを得なくなります。

そこで、咳が出たりのどが痛かったり微熱がある状況でお子さんを登校させてしまい、結果的にインフルエンザであったとすると、お子さんが在籍する学級・学年・部活動・委員会等で感染が拡大してしまいます。他のお子さんのためにも、体調が思わしくない時の登校につきましては、慎重にご判断いただきますようお願いいたします。学校といたしましても、登校したのちインフルエンザ様症状があった場合には、すぐに早退させる措置をとってまいりますのでご協力をお願いいたします。また、東京都感染症情報センターホームページを閲覧し、都内の感染状況の把握にも努めてください。

第43週(10月23日～10月29日)のトピックス **流行注意報発出中**

- ・定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は、8,282人、定点当たり19.91人
(昨年同時期 定点当たり 0.02人)
- ・インフルエンザ様疾患による集団発生事例の報告数は、442件
- ・全国における定点医療機関からの患者報告数は、97,292人、定点当たり19.68人

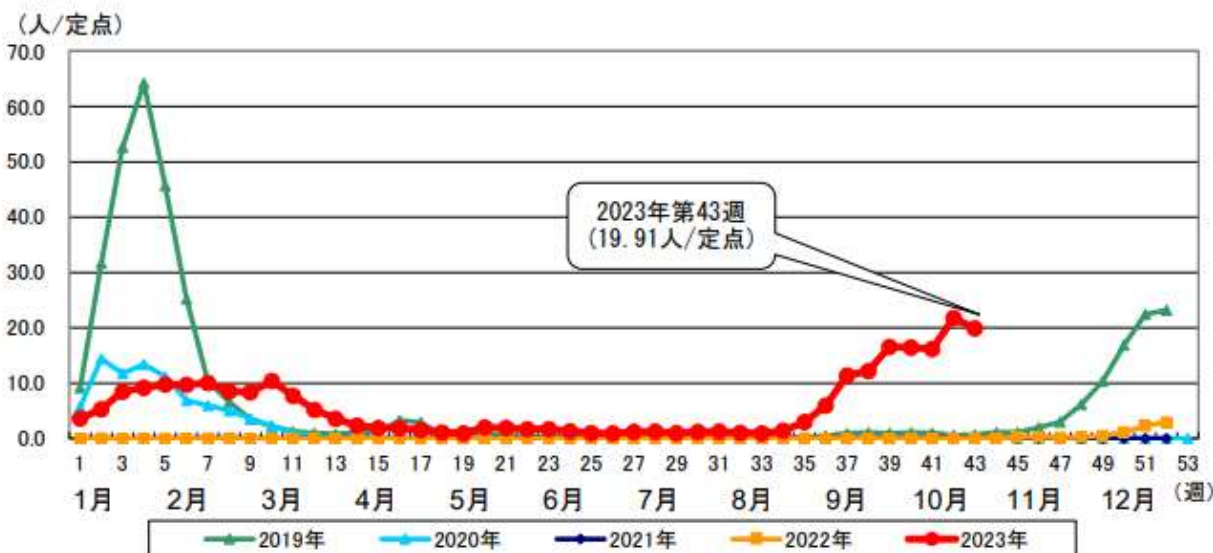


図1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移*

<東京都感染症情報センターホームページより>

都立高等学校入試の主な変更点を3つ

子どもたちには、10月31日(火)に冊子「令和6年度 東京都立高等学校募集案内」を配布し、そこにも記載されていることですが、保護者の方々にもお伝えしておいた方がいい点だけ3つに絞ってお知らせいたします。

1 インターネット出願

令和6年度からは、推薦に基づく入試、学力検査に基づく入試(第一次募集・分割前期募集)に加え、海外帰国生徒対象の4月入学生徒の選抜においても、インターネットを活用した出願を実施することになります。

昨年度から大きく拡大されるわけではありませんが、インターネット出願には入学検査料の支払いを始めとして、端末の操作、適切な手順の順守など、保護者の方の補助が必要になってきます。昨年度は、保護者の方の関与がなかったため、手続きがぎりぎりになった受験生がいました。また、志願変更の際の手順も定められているため、是非、保護者の方も冊子「令和6年度 東京都立高等学校募集案内」をご一読ください。

2 男女合同選抜の実施

このことは、東京都教育委員会からプレス発表があったと同時に、本校ホームページの「お知らせ」で9月13日付で公表いたしました。これまで男女別に定員を定めていた全日制普通科(単位制及びコース制を除く)を含め、全都立高校の推薦に基づく入試、学力検査に基づく入試(第一次募集・分割前期募集)において、男女合同選抜を実施することとなりました。

3 追々検査の廃止

第一次募集の検査当日に、インフルエンザ等の学校伝染病や新型コロナウイルス感染症に罹患した受験生又は学校保健安全法に基づく出席停止措置中の受験生で第一次募集を受験することができなかった場合は、指定の手続きをしたうえで、第二次募集の日に追検査が実施されますが、第二次募集の検査当日に上記の理由で検査を受けられなかった場合の追々検査は実施されなくなりました。

追検査が実施されることは受験生にとっての救済措置ではありますが、推薦に基づく入試では追検査はありません。また、第一次募集・第二次募集、2回の入試の機会が1回に減ってしまうことになります。なお、分割募集実施校においては、追検査は実施されませんので、分割後期募集で改めて入試にチャレンジすることになります。

したがって、先の記事「インフルエンザ『流行注意報』発令中」でも記載いたしましたが、改めてインフルエンザ予防接種を受ける状況にある場合には、ご家族そろって接種しておいた方がいいと思います。

給食を食べるときの座席の向き

大人の社会では、現在は会食も普通に行われていますが、本校では、今でも給食時は全員前を向いた座席で喫食しています。

したがって、食育の一環でもある、

- 食事中に楽しく会話をすることは「食事は楽しいもの」という気持ちを生む
 - 料理の味や香り、見た感じから、調理方法や使われた食材の会話は調理への関心を高める
 - 伝統的な食文化、国際的な食文化などに関する会話は「食」に対する知識を深める
- などの効果を求める以外にも、特別活動の視点から班単位の活動を活発にし自治活動の基本単位の形成を図ることにもなるため、来年度からは班ごとに机を合わせて食べさせたいと考えています。

そのため、新年度からスムーズに移行できるようにするため、3学期から導入を図りたいと考えているところです。

ただし、本校は他の区立中学校と比較してもマスクの着用率は高く、保護者の皆様の中にも対面で喫食することに対する慎重なお考えがあるのではないかと思います。

本校内でも、まだ学校組織として検討を始めたわけではありません。

もし、保護者の皆様の中でご意見などがありましたら、担任までお寄せいただけますと、検討の際の参考になりますので、ご協力お願いいたします。

お知らせ

- 第42回荒川区立中学校英語発表会において、以下の成績を収めました。
スピーチ部門 1位 佐藤 詩音
- 第72回荒川区民体育大会バドミントンの部において、以下の成績を収めました。
男子ダブルス 1位 佐藤 壮馬(1年)・杉谷 天稀(1年)
3位 中尾 太音(2年)・越前谷 大希(2年)
女子ダブルス 3位 二上 結愛(2年)・田中 佑花(2年)
- 汐入ふれあい館「親子で防災段ボールキャンプ」ボランティアに、以下の子どもたちが応募しました。
1年 今西 理沙、飯野 愛麻、城崎 千寧
2年 弘松 帆夏
- 10月号でご紹介した、「税についての作文」審査において、上部団体に申請中だった2名の受賞内容が決定しましたのでお知らせします。

年	氏名	作品名	受賞内容
3	近藤 美羽	家族を支える税金	全国納税貯蓄組合連合会会長賞
3	高橋 ゆい	私の弟と税金	東京納税貯蓄組合総連合会会長賞

- 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に東京都代表として出場した子どもたちが、以下の成績を収めました。
フライングディスク競技 アキュラシー ディスリート5
A5組 銅メダル 張 一泓
A6組 銅メダル 小畑 柊
フライングディスク競技 ディスタンス メンズ・スタンディング
D24組 銅メダル 張 一泓
D26組 銀メダル 小野 高大